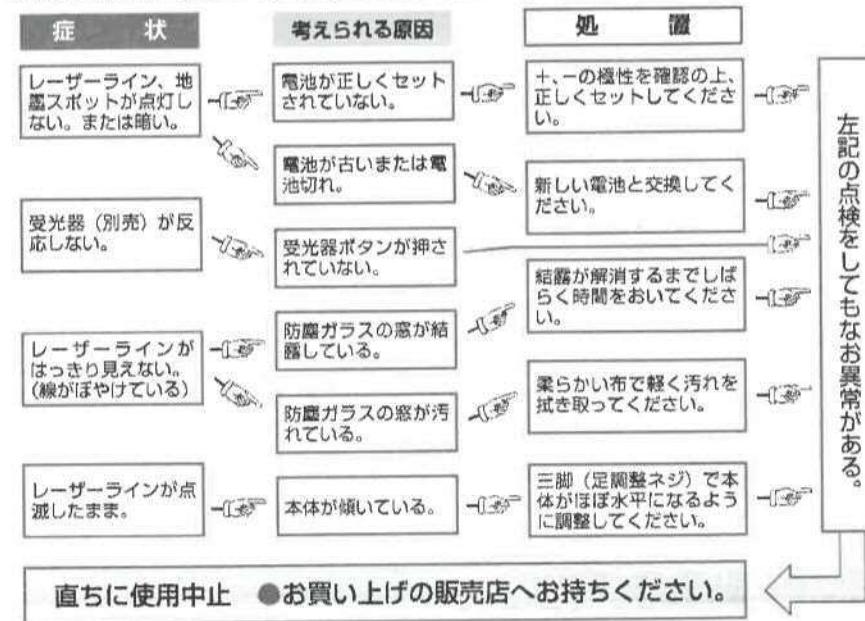


故障かな？ もう一度調べましょう

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。



左記の点検をしてもなお異常がある。

仕 様

光源（レーザーライン）	可視光半導体レーザー 635nm	レーザーライン指示精度	±1mm / 7.5m
光源（地墨ポイント）	可視光半導体レーザー 650nm	ライン幅	約 1.5mm / 5m
レーザー出力	レーザーライン：1mW 以下	使用距離範囲	半径 10m
レーザークラス	クラス 1M		半径 1.5m 以上（別売り受光器使用時）
自動補正機構	ジンバル方式	電 源	単3アルカリ乾電池 ×4本 / AC100V
制動方式	磁気ブレーキ方式	連続使用時間	約 3 時間
警告機構	自動補正範囲外はアラーム音およ びレーザーラインが点滅して警告 (約 ±3° で警告)	サイズ・重量（電池含む）	115(W)×195(H)mm、約 1.3kg
付属品	専用ケース、ショルダーベルト、乾電池、レーザーメガネ、AC アダプタ	動作温度範囲	±0°C ~ +40°C

○ 本仕様は予告なく変更することがあります。



株式会社 テクノ販売

〒815-0831 福岡県大野城市篠井 5-3-18
TEL 092-588-5581 FAX 092-588-5582
〒123-0864 東京都足立区鹿浜 3-12-11
TEL 03-5837-3052 FAX 03-5837-3053
〒546-0002 大阪市東住吉区杭全 1-3-13
TEL 06-6714-2296 FAX 06-6714-2298

4面おおがね・水平全周フルラインレーザー墨出し器 ファインレーザー LST-RB910

取扱説明書

このたびはファインレーザー（LST-RB910）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書を良くお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

機器の保全について

1. 本製品を車内に放置しないでください。
2. 屋外に放置しないでください。
3. 長時間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。

レーザー墨出し器 安全上のご注意

○安全に関する重要な内容ですのでよくお読みのうえ、必ず守ってください。

△ 注意

（誤った取り扱いをしたときに使用者が障害を負う又は物的損害が発生する可能性があります。）

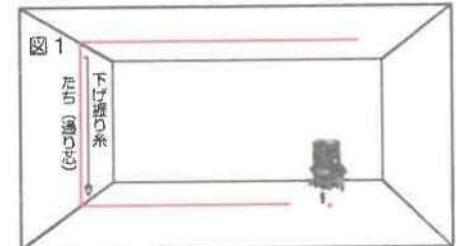
1. 精密機器につき、落としたり倒したりしないでください。
●衝撃や振動により精度が狂う場合があります。
2. 電池や本体を火中に投入しないでください。
●電池が破裂し、けがや火傷を起こす恐れがあります。
3. 修理は専門店に依頼してください。（ご自身で修理されたものについては、当社は保証いたしません。）
●本製品を改造しないでください。
●本体の異常に気がついたときは点検修理に出してください。
●修理は必ずお賣り求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理をすると十分な性能を発揮しないだけでなく当該クラス以上のレーザーを放射する恐れがあります。
4. レーザー光をのぞき込まないでください。
●視力低下を招く恐れがあります。

ご使用前に精度チェックを！

本製品は精密機器です。振動や衝撃でたちや通り芯が狂う場合がありますので、ご使用の前に次の手順で精度の確認を必ず行ってください。

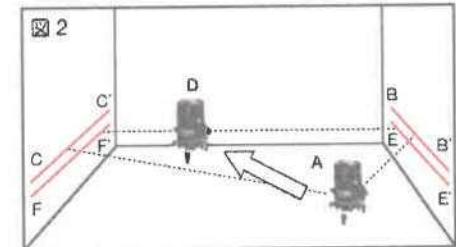
I. 通り芯のチェック（図1参照）

1. 下げ振りを壁に2m程度振り下げる。
2. 糸から約2~5m離れた水平な床に本体を置き、
ライン（通り芯）を表示する。
3. 糸全体にレーザーが照射していることを確認して
ください。
4. もう一方のラインも同じ方法で確認してください。



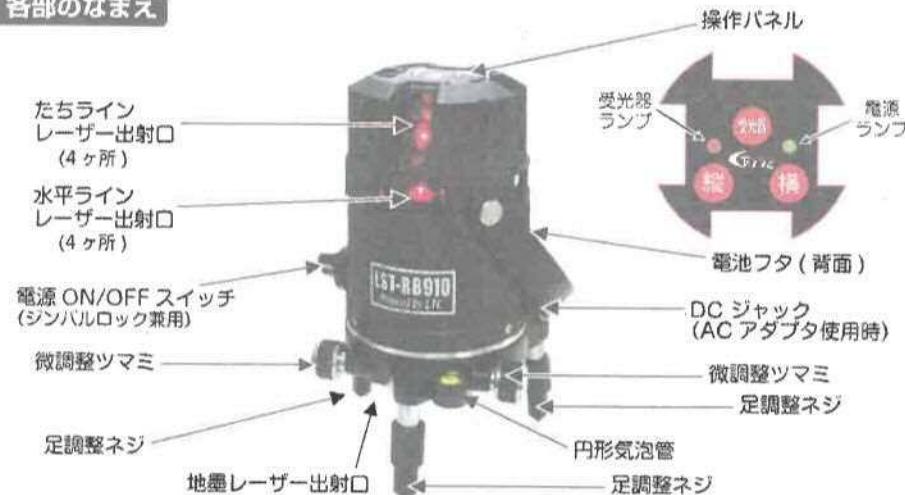
II. 水平ラインのチェック（図2参照）

1. 本体AからBB'点にレーザーラインを照射して
マーキングする。
 2. 本体AからCC'点にレーザーラインを照射して
マーキングする。
 3. 本体をAからDに移動する。
 4. 本体をDからBの方向にレーザーラインを照射して
マーキングする。
 5. 本体をDからCの方向にレーザーラインを照射して
マーキングする。
- その結果、BB'、EE' と CC'、FF' の位置の差
が同じであれば正常です。
- （例）BB' と EE' が 3mm の差がある場合、
CC' と FF' が 3mm の差であれば正常です。



※もしも上記の結果にならない場合は調整が必要ですので
お買い上げの販売店までお申し付けください。

各部のなまえ



乾電池の入れ方

電池ブタを外して単3アルカリ乾電池4本を入れる。下図を参考にして極性+、-を間違えないようにセットしてください。



- 古い電池や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 濡れた手で電池を入れないでください。

ご使用の手順

- レーザーラインを照射する方向に向けて本体を床面に置く。
- 電源スイッチをオンにする。操作パネル上の電源ランプが緑色で点灯します。
 - 作業に必要なラインを操作パネルのスイッチにて投影させる。(各部のなまえ参照)
 - 鉛直の補正ができるない場合はレーザーが点滅および警告音でお知らせします。
- レーザー光が点滅の場合は足調整ネジでレーザー光が投影されるまで本体を水平に近づける。
- 地墨を基準点(床墨)に合わせる。
- 本体を回転させて必要な方向にたちラインや水平ラインを表示させる。
- 通り芯の場合、微調整ツマミを使用すると大変便利です。

[ボタン操作]
縦1回押し：たちライン1本、地墨点点灯。
縦2回押し：たちライン2本、地墨点点灯。
縦3回押し：全たちライン、地墨点点灯。
縦4回押し：全たちライン、地墨点消灯。
横1回押し：広角水平ライン点灯。
横2回押し：全周水平ライン点灯。
横3回押し：消灯。
受光器：受光器を使用する場合に押す。受光器ランプが緑色に点灯します。

ご注意：より良い精度を出すために、気泡管で本体を水平に合わせてください。
円内に入れば補正範囲内です。

レベル用三脚への取り付け

エレベータ三脚に本体を取り付ける場合は、下図を参考にして取り付けて使用してください。



屋外でご使用になるときのご注意

当社別売りの受光器を使用すると屋外でも墨出し作業ができます。
屋外で使用する場合は、下記の点を必ず守ってください。

- 雨の中では使用しないでください。
本製品は、完全な防水構造ではありません。
- 作業時レーザー光が消灯していないことを確認してください。
屋外ではレーザー光が見えにくいため、レーザー光が消灯したまま気付かないで墨出し作業をしてしまう場合がありますのでご注意ください。
- 受光器使用時は、本体操作パネルの「受光器」スイッチを必ず押してください。
本体の受光器スイッチを押さないと受光器は反応しません。
- 受光器を使用する場合、ごく近い場所では別の場所で反応する場合があります。
半径2m以内の場所では、見えないレーザーを受光器が感知する場合がありますが、異常ではありません。受光器は2m以上離してご使用ください。

ご使用後は

- ジャイロ機構保護のため、電源スイッチは必ずオフにしてください。
- 持ち運び時、収納時は必ず専用ケースをご使用ください。

お取り扱い上のご注意

- 精密機器につき分解はしないでください。(保証対象外となります。)
 - 周囲温度40°C以上、0°C以下のご使用は避けてください。
 - 急激な温度変化でのご使用は避けてください。
 - お手入れにシンナー・ベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
 - 電池を交換するときは、電源スイッチを必ずオフにしてください。
- * 本機は、輸送時に精度を維持するためにジンバルを強めにロックするようにしています。したがって、最初にスイッチをONにする際、ロックが解除されずブザー音が鳴る場合がありますが故障ではありません。
しばらくブザー音が鳴り止まない場合は、ボディを軽くたたいてください。